

契約結果調書

件名	e B O O T H v . 6 クラウド版__L i t e セルフ座席予約システム構築		
契約日	令和 8年 6月 25日		
契約期間	令和 8年 6月 25日 から 令和 8年 8月 31日 まで (68日間)		
履行場所	瀬戸市立図書館		
予定価格	事後公表 2,709,300 円 (見積書比較価格 2,463,000 円)		
契約金額	2,695,000 円 (うち取引に係る消費税等 245,000 円)		
受注者	20026421-0 株式会社タック・ポート 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央1-21-3		
契約の相手方とした理由	本業務は現在稼働中の図書館システムと連携した座席予約システムを構築するものである。新設する座席予約システムは、図書館システムと連携し、図書館の利用カードを用いた予約の受付や、利用回数制限、在住・在勤等の登録属性に応じた利用制限を行う必要がある。図書館システムの内部構造や仕様を完全に把握し、システムに負荷や障害を与えることなく安全に構築を行えるのは、株式会社タック・ポートにおいて他にないため。		
契約区分	総価契約（単年総価契約）	分類業務区分	その他委託
契約方法	随意契約2号該当（地方自治法施行令第167条の2第1項第2号該当）		
業種	電算機器		
担当課	図書館		
契約内容	別紙のとおり。		
備考			

当初受付番号 8-000747
契約番号 8-080663-0

瀬戸市立図書館様向け セルフ座席管理システム_仕様書

NO	内容
1	座席管理システムの導入範囲
(1)	利用者自ら、利用カード（番号）を利用して、予約画面から座席予約・利用・終了することが可能なセルフ座席予約システムを導入すること。座席管理を行う範囲は以下の通り。 ①学習室 42席 ②部屋 2部屋（ボランティア室、集会室）
(2)	利用者の利便性を高めるために、以下対応が可能なシステムであること。 ①来館された利用者に、予約端末から各コーナーの空席状況表示と当日分の座席予約が可能なこと。 ②利用者が図書館外のPC・スマートフォン等からインターネット経由で図書館ホームページに接続し、図書館内各コーナーの現時点の空席状況を確認及び当日・未来日の座席予約も可能なこと。
(3)	利用者が自ら座席予約するための予約端末と、職員がマスタメンテナンスやイレギュラー対応する管理端末も用意すること。
2	前提条件・共通
(1)	本仕様の対象は、座席予約システム、インターネット予約用ウェブサイト（図書館ウェブサイトにおける修正やバナー等の設置は含まない）、管理端末、予約端末の構築及び保守・運用サポートにかかる提案とする。 サーバはクラウド上に置くものとする。
(2)	貸出利用券（バーコード）・パスワードを使用した座席予約ができること。 その際、図書館システムに利用者登録されている者をリアルタイムに識別する機能を有すること。 貸出利用券の有効/無効を確認し、無効の場合は警告画面を表示して利用できない制御を行うこと。
(3)	利用者自ら予約するセルフ運用となるため、館内予約端末・WEB予約画面から予約をする際に「座席利用上の注意」画面を表示できること。又、利用カード番号で認証され、画面遷移後に「座席利用上の注意」が表示され、内容を確認の上「承認」ボタンを押さないと予約入力画面に遷移しない設定も可能なこと。
(4)	図書館システムと連携することにより、年齢、利用区分等で各コーナー毎の条件設定に合わない場合は、そのコーナーのみ利用できない制御を行うことができること。 制限する内容については、以下のとおり。詳細については、別途打ち合わせとする。 ①学習室 42席（利用区分（個人）のみ予約。在住・在勤とそれ以外で、WEB予約できる日付を変える。） ②部屋 2部屋（利用区分（団体）のみ予約）
(5)	利用者が平等に利用出来るよう、館内予約・Web予約は1個までとすること。ただし、未来日にWeb予約がある場合でも当日に来館した場合は、予約端末から1個まで予約ができること。
(6)	各コーナー毎に同一利用者の同日内の最大利用回数・時間を制限することができること。制限を超えた利用は、利用認証の際に判断し利用できない制御を行うこと。利用回数・利用時間の設定は、図書館職員により変更できること。
(7)	予約票に記載された「予約番号」はシステムが発行するランダム番号とし、他者が類推できない番号とすること。また、同日内に同じ番号が発行されない仕組みであること。
(8)	終了時間が来る前に退席処理が出来ること。 退席処理を行うと、該当の座席は次の利用者に割り当て対象となること。
(9)	退席処理は、予約端末で利用カード（バーコード）、または予約票の予約番号（バーコード）を読み込むことで、退席処理画面が表示される仕組みとすること。又、終了時間が来る前にWEB予約画面を表示すれば、退席ボタンを表示して退席可能とすること。
(10)	退席処理を行った場合、利用時間は途中退席した残り時間分は差し引かれて、再度利用可能時間とすること。 利用回数は、退席しても1回とカウントする。
(11)	館内予約端末、管理端末は、Microsoft Edgeが稼働する端末環境を前提とします。
(12)	短納期での納入となるため、上記機能で公共図書館への導入実績が多数あるパッケージであること。
3	予約端末（利用者用）機能

NO		内容
	(1)	待受け画面に、現時点での予約可能な座席数がリアルタイムに一覧表示されること。 満席の場合は、満席表示し、何分後に予約可能が表示できること。
	(2)	タッチパネル操作で誰でも簡単に操作できること。又、予約完了したら、予約票を印刷できること。
	(3)	利用カード番号（バーコード）を入力した後に、現時点でのコーナー毎の利用回数・時間が確認できること。 その後、コーナー選択して【いつから】【何分間】【どの座席を】使うかを座席予約できること。
	(4)	【いつから】【どの座席を】【何分間】の指定は、選択肢が一つしかない場合は、選択ボタンを表示させないこと。
	(5)	予約と予約の間隔の時間設定はコーナー毎に初期設定できること。（例：①は5分間隔、②③は2分間隔）
	(6)	【いつから】開始時刻を設定させず、システムが自動で最短利用できる時刻を設定する機能も保有すること。
	(7)	【何分間】使うかを選択する際、閉館間際で残り時間がわずかな場合は「閉館まで」の選択が可能であること。
	(8)	予約端末に表示する画面は、背景を図書館との相談で設定することが可能なこと。背景のデザイン作成等は含まない。 又、図書館より画像提供されたキャラクターなどを表示することも可能なこと。
4		管理端末（職員用）機能
	(1)	利用者の代行予約ができること。又、イレギュラー対応できるよう、注意喚起のポップアップ表示された上で「OK」ボタンを押して複数予約も対応可能となっていること。
	(2)	予約されている時系列のバーをマウスでクリックすることで、利用カード番号・予約時間を確認でき、利用終了・予約削除・予約票レシートの再発行ができること。
	(3)	管理者・職員・委託業者等の権限によりログインID・パスワードを変更し、使用出来るメニューを変更できること。
	(4)	PC故障や座席使用が不可の場合など、時間を特定して利用できない時間帯（利用不可設定）をすることができること。
	(5)	座席の間引きや一定期間利用不可能な座席を設定するため、期間設定・時間設定（終日または任意の時間帯）・コーナー・間引きする複数座席を指定して一括で利用不可設定ができること。開館～閉館まで利用不可設定されている場合は、館内予約端末・WEB予約に表示されている総座席数を減算させること。
	(6)	利用者が、最大利用回数/時間を超過した場合も、制限を超えた特別予約ができること。（例：「2回/日」のコーナーでも、3回目の予約入力可能）
	(7)	コーナー・座席ごとに利用カード番号・ステータス（予約・削除・退席・終了etc）の利用履歴を時系列に確認できる画面が用意されていること。又、CSV出力も可能なこと。
	(8)	各コーナー毎の利用制限(利用回数・時間)を変更する場合は、管理者権限をもつ職員が容易に変更できること。
	(9)	予約票レシートに職員が自由に使えるメッセージエリアを2つ用意し、メッセージ文言はマスタメンテナンス画面からリアルタイムに変更できること。
	(10)	WEB予約画面に表示されているコメントは、職員がマスタメンテナンス画面からリアルタイムに変更できること。
	(11)	コーナーごとの日別の開閉館時間は、パターン別（平日・休日etc）に初期設定できること。パターンは複数作成可能で、職員自身で新しいパターンの作成が可能なこと。
	(12)	職員がカレンダーから開閉館時間に変更になる日を事前に13カ月先まで設定しておくことができること。又、カレンダーの月日の色を変えて変更設定した日は、後から容易に確認できること。（例：コーナーAは、12月1日午前中だけ予約対象としないなど）
	(13)	利用統計表が出力できること。それぞれコーナーごとの利用回数・時間、時間帯別の利用回数・時間をCSV出力できること。又、期間設定することで、その期間の集計数値もCSV出力できること。年齢別、利用区分別等の図書館システム連携して、データ集計する項目については、別途打合せの上決定とする。
5		WEB予約機能

NO	内容
(1)	WEB予約した利用者は、来館して所定の時間（利用開始時間+15分後等）までに予約端末から「利用確定」を行うことで利用可能とすること。所定の時間を経過しても「利用確定」されない場合は、予約が自動的にキャンセルされ、該当の座席は次の利用者に割り当て対象となること。
(2)	WEB予約の待ち受け画面には、現時点の空席状況がログインしなくても閲覧でき、「1.(1)」で設定したWEB予約可能席が残り何席あるかも確認できること。又、未来日に関しても、ログインしなくてもWEB予約の空席状況が確認できること。
(3)	WEB予約内容の「確認」「取消」の機能を有すること。 又、利用開始後は「退席」ボタンが表示され、予約端末に行かなくても退席できること。
(4)	PC用サイト、スマートフォン及びタブレット用サイトの構築にあたって、Edge・Chrome・サファリのみブラウザ環境の試験を行うこと。今後新たに生まれるブラウザ環境への適用費用は含まない。
(5)	WEB予約で予約可能な座席を指定することが出来る(設定しない席は当日館内予約しか出来ない仕様とする)。又、WEB予約から予約されていない座席は、当日館内から予約可能とする。
(6)	WEB予約できる期間（例：7日前から予約可能）は、導入前に決定し設定することが可能であること。 WEB予約設定できる期間は、全てのコーナー（座席・会議室共）が同一期間設定とする。
(7)	管理端末から、職員が予約する場合のみ、1年先まで予約入力することが可能なこと。 又、予約する項目には、予約日時・利用時間・座席の他に備考欄があり、申送り事項等を記載できる欄が用意されていること。